

1988～1989年度

国際ロータリー第266地区インターアクトクラブ年次大会

感動と友情

WE BUILD EXCITEMENT.



11月23日（水）

会場 大阪産業大学 多目的ホール

ホストクラブ 大阪桐蔭高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ 大東ロータリークラブ

指文字 50 音表

あ		い		う		え		お	
か		き		く		け		こ	
さ		し		す		せ		そ	
た		ち		っ		て		と	
な		に		ぬ		ね		の	

は		ひ		ふ		へ		ほ	
ま		み		む		め		も	
や				ゆ				よ	
ら		り		る		れ		ろ	
わ		を		ん					

インターアクトの目的および目標

1. 建設的指導能力と個人的誠実性を認識し、発展すること。
2. 他人に対し思いやりがあり、また役立つよう奨励し、かつ、実行すること。
3. 家庭と家族の重要さの意識を深めること。
4. 各個人の価値の認識に基づき他人の権利を尊重すること。
5. 個人的成功、地域社会の改善および団体的業績の基礎として、個人的責任の受諾を強調すること。
6. 社会的奉仕への機会として、総ての有用な職業と真価と貴重さを認識すること。
7. 知識の増進と地域社会、国家および世界情勢の理解を得るための機会を提供すること。
8. 世界の人々に対する親善と国際的理解の増進に導く個人および団体活動の道を開くこと。

インターアクトの歌

東京西 R C 会員
藤山一郎 作詞・作曲

元気よく

こ こ に つ ど い し わ れ ら は ほ こ り も た か し

イ ン タ ー ア ク ト ち い き し か い に ほ う し の り そ う

し め せ い ま こ - そ そ の ま こ と - ほ ほ

え み を も て さ し の べ よ て を - せ

か い を む す ぼ う イ n タ ア - ク ト わ れ ら

1988~1989年度 R.I.266地区
 インターアクトクラブ年次大会
 プログラム

感動と友情

WE BUILD EXCITEMENT.

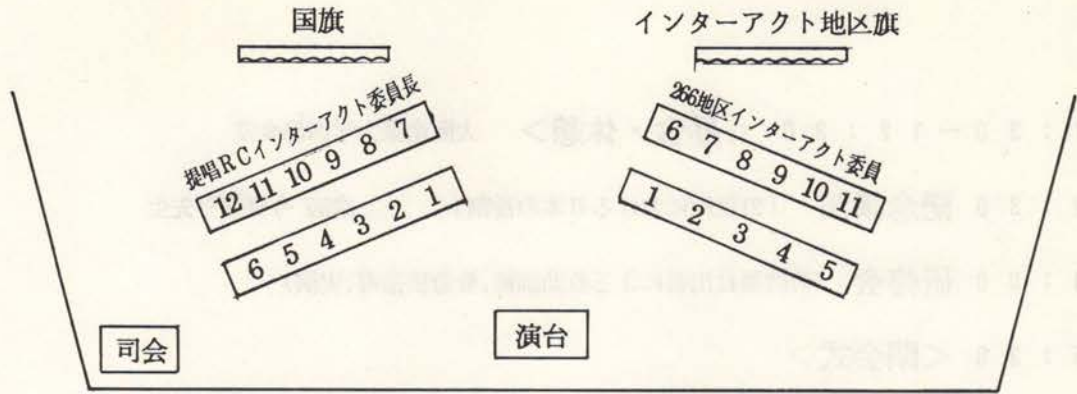
9:00 受付(登録開始)

9:30 <開会式>

	総合司会 大阪桐蔭高校 I A C	川崎靖彦
点鐘・開会宣言	R I 266地区 I A C地区代表	薄木一生
君が代斉唱	ソングリーダー	出井諭記
I A Cの歌	"	出井諭記
ターゲットの発表と説明	大阪桐蔭高校 I A C	間宮重幸
開会の言葉	R I 266地区インターアクト委員長	藤井則郎<大東RC>
歓迎の言葉	大阪桐蔭高校 I A C副会長 学校法人大阪産業大学理事長 大東RC会長	澤村哲英 大西利治 井上忠信<大東RC>
来賓紹介 (来賓並びに参加ロータリアンの紹介)	R I 266地区インターアクト委員	重村泰弘<大阪南西RC>
参加クラブ並びに顧問紹介	R I 266 I A C地区幹事	梅田一弘
来賓祝辞	大東市長 R I 266地区ガバナー R I 266地区青少年奉仕部門 担当パストガバナー	西村 昭 古田敬三<大阪RC> 坂東 宏<吹田RC>
祝電披露	大阪桐蔭高校 I A C顧問	杉田建太
感謝状贈呈	地区インターアクト委員長へ I A C代表より 各提唱ロータリー I A C委員長へ 各 I A Cより	
	大阪RC I A C委員長殿 ←	大阪市立東高校 I A C代表
	大阪阪南RC I A C委員長殿 ←	四天王寺学園 I A C代表
	大阪南RC I A C委員長殿 ←	清風学園 I A C代表
	大阪南西RC I A C委員長殿 ←	大教大附属平野校舎 I A C代表
	大阪住吉RC I A C委員長殿 ←	浪速高校 I A C代表
	八尾RC I A C委員長殿 ←	金光八尾 I A C代表
	大東RC I A C委員長殿 ←	大阪桐蔭高校 I A C代表
スピーチ <インターアクターの主張>	伊部 雅子 大教大附属平野校舎 I A C 宇都宮健司 清風学園 I A C 沢井 恵 大阪市立東高校 I A C 平野 宏幸 大阪桐蔭高校 I A C	
活動報告	各 I A C代表(7校)	
行事案内	総合司会 川崎靖彦	

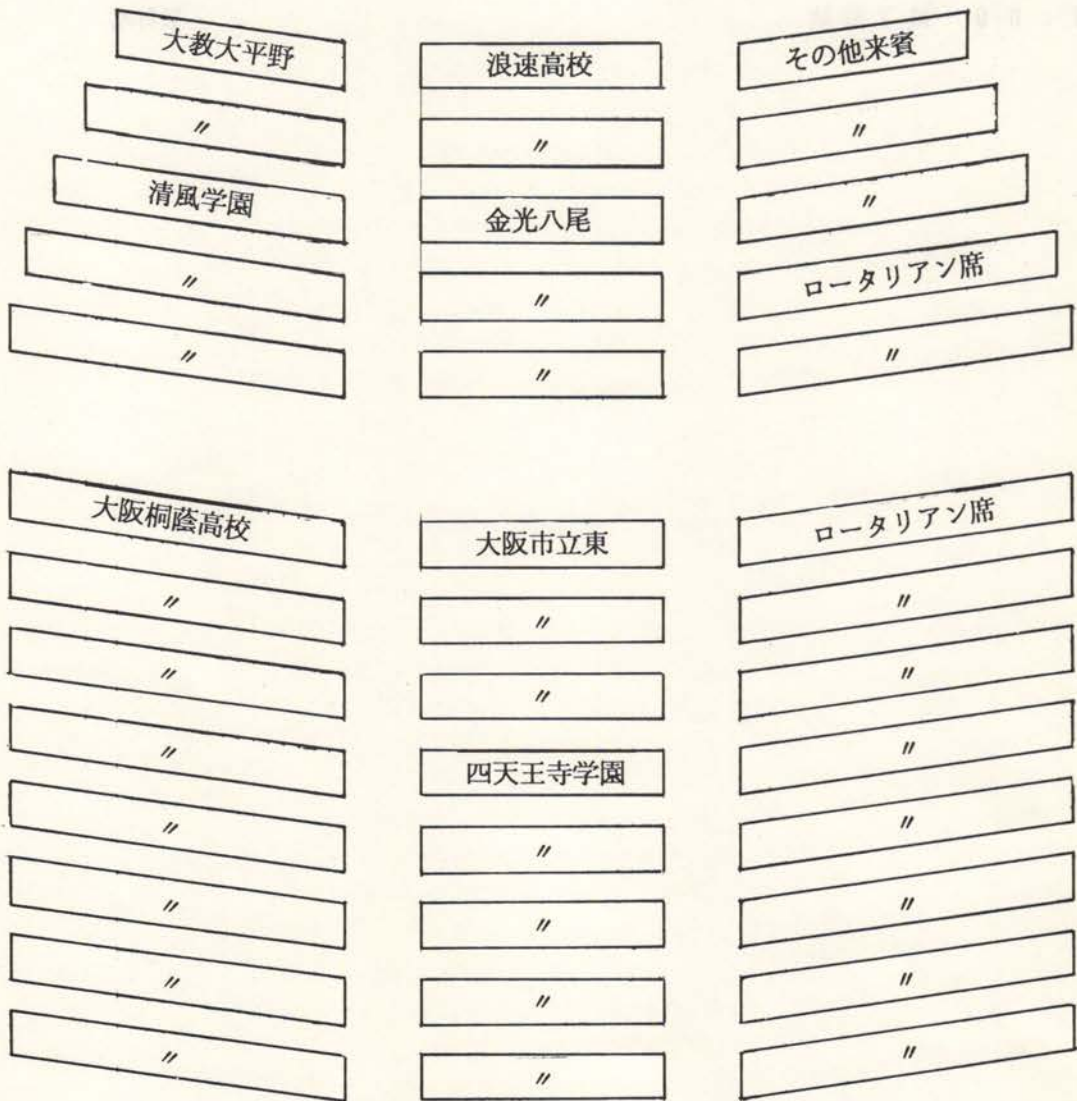
11:30 開会式終了

会場 大阪産業大学多目的ホール



- 左
- 1 大東RC会長
 - 2 学校法人大阪産業大学理事長
 - 3 大阪桐蔭高校校長
 - 4 大東RCインターアクト委員長
 - 5 266地区IAC代表
 - 6 " 幹事

- 右
- 1 大東市長
 - 2 ガバナー
 - 3 青少年奉仕部門担当パストガバナー
 - 4 266地区インターアクト委員長
 - 5 青少年奉仕部門担当幹事



年次大会記念講演

演題 「21世紀における日本の役割」

講師 大阪産業大学経済学部教授

今野 修平 先生



経 歴 大阪産業大学教授
福井医科大学教授
日本港湾経済学会理事
東北地理学会評議員
国土審議会専門委員
科学技術庁資源調査所専門委員
国土庁地方都市問題懇談会委員
国土庁半島問題懇談会委員
北海道東北開発公庫嘱託
(その他数々の経歴をお持ちの先生です)

R I 第266地区ロータリークラブ地区役員名簿

国際ロータリー第266地区

ガバナー 吉田 敬三 (大阪RC)
ガバナー事務所 〒 530 大阪市北区中之島5-3-68
ロイヤルホテル544号室
☎ (06)445-5500

青少年奉仕部門担当

パストガバナー 坂東 宏 (吹田RC)
〒 564 吹田市出口町13-22
☎ (06)388-0991

インターアクト地区委員

- ◇ 委員長 藤井 則郎 (大東RC)
〒 578 東大阪市吉原53 ☎ (0729)61-4017
- ◇ 委員 二宮 正彦 (大阪南RC)
〒 545 大阪市阿倍野区北島2-6-23 ☎ (06)653-7680
- 的場 勝彌 (大阪靱RC)
〒 665 宝塚市千種3-14-21 ☎ (0797)73-5338
- 重村 泰弘 (大阪南西RC)
〒 560 豊中市千里北町2-39-10 ☎ (06)831-2734
- 仲野 欣也 (大阪阪南RC)
〒 590 堺市浅香山町3-8-22 ☎ (0722)27-6071
- 横井 悌一郎 (大阪RC)
〒 659 芦屋市山手町14-8-103 ☎ (0797)31-1712
- 塩山 高之 (大阪南RC)
〒 662 西宮市柏堂町13-21 ☎ (0798)74-2199
- 小室 甲 (大阪住吉RC)
〒 545 大阪市阿倍野区北島2-10-19 ☎ (06)661-2177
- 中島 孝夫 (八尾RC)
〒 581 八尾市安中町2-1-47 ☎ (0729)94-9211

地区代表・幹事

地区代表	大阪桐蔭高校 I A C 薄木 一生 (2年)
クラブ住所	〒574 大阪府大東市中垣内3-1-1
電話番号	0720-75-3001 (大代表)
相談役	大西利治
顧問代表	森山信一
顧問	平岡伸一郎 杉田建太 河津浩司 森川泰明

地区幹事	大教大附属高校平野校舎 I A C 梅田一弘 (1年)
クラブ住所	〒547 大阪市平野区流町2-1-24
電話番号	06-631-5800
顧問代表	西野博子
顧問	大西慶一

R I 第266地区 行事予定

活 動 項 目	実 施 日	場 所
I A C 顧問会議 次年度年間活動計画	63/6/25 (土)	大阪桐蔭高校本館会議室
海外研修下見	6/30 (木) ~ 7/2 (土)	ハワイ (オアフ島)
海外研修オリエンテーション (1回目)	7/16 (土)	大阪桐蔭高校本館会議室
(2回目)	7/30 (土) ~ 31 (日)	大阪桐蔭高校岬研修センター (泉南郡岬町淡輪6092-3)
海外研修 (4泊6日)	8/25 (木) ~ 30 (火)	ハワイ (オアフ島)
海外研修反省会	9/10 (土)	大阪桐蔭高校本館会議室
I A C 顧問会議 (年次大会準備) (1回目)	10/15 (土)	大阪桐蔭高校本館会議室
(2回目)	11/11 (金)	大阪桐蔭高校本館会議室
年次大会予行 (3回目)	11/22 (火)	大阪桐蔭高校本館会議室
年次大会	11/23 (水)	大阪産業大学多目的ホール
リーダーシップフォーラム 新入生歓迎会	64/5/13 (土) ~ 5/14 (日)	未定

大阪市立東高等学校

インターアクトクラブ1988~1989

住 所： 〒534 大阪市都島区東野田4-15-14

電 話： 06-354-1251

スポンサークラブ： 大阪RC

電 話： 06-448-1121

住 所： 〒530 大阪市北区中之島5-3-68 ロイヤルホテル内

設 立 年： 1968年7月16日

氏 名	役 職	氏 名	役 職
今井 悠紀	委 員 長	瀧 釣 一 郎	委 員
熊平 雅人	副 委 員 長	横井 悌 一 郎	〃
Paul A. Dudler	委 員	寛座 純 一	顧 問
廣瀬 太一	〃	山田 孝子	〃
池上 隆造	〃	勇士 幸子	〃
森下 孝	〃	大西 敏郎	〃
尾崎 敏紘	〃	難波 克充	〃

氏 名	役・学年	氏 名	役・学年	氏 名	役・学年
松本 由美	会 長	奥川 佳代子	1	高岡 恵子	1
樋口 利恵	副 会 長	中森 晶子	1	佐藤 幸子	1
高間 康世	3	黒木 千恵	1	梅本 知咲	1
大藪 光代	3	菊池 真由美	1	岩崎 由美子	1
藤本 清子	3	山下 真美	1	吉田 暢子	1
奥埜 真紀子	3	野尻 季美子	1	大井 優雅子	1
酒井 貴子	3	越智 宣江	1	蟻 芝 晴美	1
城ヶ野 康子	2	安村 英美	1	砂原 弘子	1
沢井 恵	2	佐伯 博之	1	竹内 しおり	1
辻 美登利	2	中村 広志	1		

清風学園

インターアクトクラブ 1988~1989

住所：〒543 大阪市天王寺区石ケ辻12-16

電話：06-771-5757

スポンサークラブ：大阪南RC

電話：06-631-1262

住所：〒542 大阪市南区難波5-1-5

設立年：1975年7月22日

氏名	役職	氏名	役職
奥村 安正	委員長	小林 三磨	顧問
松本 晴次	副委員長	神谷 佳郎	〃
二宮 正彦	委員	宮崎 紀元	〃
小野 功龍	〃		
吉川 晃司	〃		

氏名	役・学年	氏名	役・学年	氏名	役・学年
宇都宮 健司	会長	林 享	1	南沢 康邦	1
田中 健一	3	露木 雄次	1	山中 敏彰	1
中西 昌平	3	興津 求	1	芳武 進	1
福田 琢也	3	三谷 芳夫	1	吉田 宝	1
武本 康博	3	南保 貴洋	1	梅野 正人	1
清水 貞宏	3	藤木 一雄	1	東川 孝人	1
道下 昌孝	3	西端 秀幸	1	小沢 勲	1
池口 央	2	川崎 貴生	1	小林 貢	1
上辻 俊輔	2	能勢 潤	1		
香渡 大介	2	小西 太	1		
中西 光司	1	吉兼 周吾	1		

大阪教育大学附属高等学校
平野校舎

インターアクトクラブ1988~1989

住所：〒547 大阪市平野区流町2-1-24

電話：06-707-5800

スポンサークラブ：大阪南西RC

電話：06-631-1262

住所：〒542 大阪市南区難波5-1-5高島屋本社内

設立年：1979年12月17日

氏名	役職	氏名	役職
吉田 和正	委員長	西野 博子	顧問
前田 孝夫	副委員長	大西 慶一	〃
鎌田 敬一	委員		
葛城 健二	〃		

氏名	役・学年	氏名	役・学年	氏名	役・学年
梅田 一弘	会長	山口 泰代	3	西野 陽子	2
田中 秀宜	副会長	大谷 博子	3	宮本 郁子	2
大西 由紀子	幹事	佐藤 久子	3	冨田 訓子	2
大久保 由紀	会計	奥田 真実子	3	柏本 真奈美	2
今川 佳代子	3	瀬田 純子	3	倉西 晶子	2
木下 葉子	3	牧石 千晶	3	小西 美穂	1
樋上 夏子	3	水谷 佳代	3	長谷 澤 覚	1
福井 美也子	3	山口 揮造	2	中川 仁史	1
三井 嘉子	3	石川 憲司	2	伊部 雅子	1
元村 有里	3	吉川 直弥	2	中村 洋子	1
山際 由利子	3	新川 武史	2	坂本 育世	1

浪速高等学校

インターアクトクラブ1988～1989

住所：〒558 大阪市住吉区山之内2-18-57

電話：06-693-4031

スポンサークラブ：大阪住吉RC

電話：06-624-1111

住所：〒545 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43近鉄百貨店阿倍野店内

設立年：1982年4月1日

氏名	役職	氏名	役職
一ノ瀬 博	委員長	本間 靖彦	顧問
濱田 朝夫	委員	春田 義幸	〃
松本 博之	〃		
安田 基盛	〃		

氏名	役・学年	氏名	役・学年	氏名	役・学年
大谷 朋史	会長	森川 和信	3	上野 登喜武	1
大賀 拓也	副会長	八野 文彦	2	内田 真一	1
目 克哉	会計	上野 雅弘	幹事	沖田 訓和	1
祖川 達也	国際奉仕	川崎 健一郎	2	中野 克俊	1
久世 純一	3	竹川 渉	2	本田 和也	1

四天王寺学園

インターアクトクラブ1988~1989

住所：〒543 大阪市天王寺区四天王寺町1-11-73

電話：06-772-6201

スポンサークラブ：大阪阪南RC

電話：06-772-5816

住所：〒543 大阪市天王寺区悲田院町8-11

設立年：1983年3月17日

氏名	役職	氏名	役職
寶生孝七郎	委員長	田中真康	顧問
西埜俊弘	委員	河原啓	〃
阪秋廣	〃	森内明美	〃
和田健	〃		
山本晴敏	〃		

氏名	役・学年	氏名	役・学年	氏名	役・学年
木本敦子	3	小野登史子	1	山野るみ	中1
河合千佳	3	條智美	1	瀬戸里絵子	中1
樽本直美	3	古泉江美	中3	松本佳絵	中1
北田真紀子	2	所英理子	中3	横山勲子	中1
出井論紀	2	佐伯陽子	中3	松本佳子	中1
酒井いずみ	2	武内さくら	中2	藤浪菜穂子	中1
竹村圭子	2	山本綾子	中2	松下佳代	中1
青山政代	2	渡辺端穂	中2	砂川さおり	中1
和泉匡余	1	宮本寿子	中2	津村理恵	中1
利川陽子	1	金沢理恵	中2	坪井裕見	中1
名村真由美	1	和久亜矢子	中1	富田千晶	中1
光永子	1	三谷純子	中1		

金光八尾

インターアクトクラブ1988~1989

住所：〒581 大阪府八尾市柏村町1-63

電話：0729-22-9162

スポンサークラブ：八尾RC

電話：0729-91-2129

住所：〒581 大阪府八尾市本町2-2-8

設立年：1987年9月19日

氏名	役職	氏名	役職
中島孝夫	委員長	若林正信	顧問
相馬俊雄	委員	片島哲哉	〃
山畑雅裕	〃	北岡明浩	〃
川見三七雄	〃	宮森信美	〃
田中昌之	〃		

氏名	役・学年	氏名	役・学年	氏名	役・学年
高内順平	会長	玉尾直哉	2	河内博行	1
大城鈴代	幹事	山本晃儀	2	岡崎陽子	1
野呂岳範	2	浜口太郎	2	岩井栄美子	1
絹井淳子	2	正木宏治	2	木村友之	1
大町尚子	2	竹原拓也	2	翁長輝明	1
木原浩二	2	竹中すみ恵	2	藪内一郎	1
近藤浩一	2	辻淳子	1	片岡信高	1
青木慎一	2	福島博	1	松裏章司	1

大阪桐蔭高等学校

インターアクトクラブ1988~1989

住 所： 〒574 大阪府大東市中垣内3-1-1

電 話： 0720-75-3001(代) 内線5062-5065

スポンサークラブ： 大東RC

電 話： 0720-75-1200

住 所： 〒574 大阪府大東市赤井1-2-10

設 立 年： 1976年6月8日

氏 名	役 職	氏 名	役 職
北井 清文	委 員 長	大西 利治	相 談 役
重光 世洋	副 委 員 長	森山 信一	顧 問
池田 実	委 員	平岡 伸一郎	〃
三田 眞作	〃	柚田 建太	〃
恩地 進	〃	河津 浩司	〃
松本 雅晴	〃	森川 泰明	〃
澤邊 清	〃		
島 美楯	〃		

氏 名	役・学年	氏 名	役・学年	氏 名	役・学年
薄木 一生	会 長	小川 公一	3	井本 聡	3
澤村 哲英	副 会 長	森本 誠	3	梅川 貴志	3
宮本 尚治	幹 事	松田 孝之	3	大森 浩	3
日高 隆善	3	金光 誠	3	西条 彰修	3
阪本 一哉	3	今里 孝志	3	稲本 吉高	3
田淵 義浩	3	山口 兼治	3	新城 宣史	3
中村 芳浩	3	松川 真一	3	間宮 重幸	2
松井 美幸	3	靄原 徹	3	川崎 靖彦	2
古田 禎浩	3	澤 達雄	3	平野 宏幸	2
大阪 顕義	3	一色 勝利	3	椎葉 達彦	2
田代 清志	3	斉藤 吾朗	3	山田 拓馬	2

氏名	役・学年	氏名	役・学年	氏名	役・学年
相田 章雄	2	中 敏貴	1	森本真一朗	1
託間 雅夫	2	森本 幹彦	1	高嶋 和幸	1
男澤 裕之	2	奥田 裕宏	1	小代 和利	1
小坂 武	2	蘇武 茂	1	谷口 洋司	1
三杉 寛文	2	尾田 智徳	1	要 明宏	1
玉置 博昭	2	浜田 圭司	1	栗林 秀治	1
村野 佳規	2	坂根 亘	1	堤添日出男	1
生田 雅佳	2	新谷 有一	1	坂根 誠	1
中川 毅彦	2	篠崎 輝雄	1	三原 靖司	1
竹 賢三	2	奥沢 清孝	1	柿添 善博	1
樋口 道夫	2	谷 直聡	1	谷木 栄仁	1
守谷 浩一	2	那須 大昌	1	内ヶ島 壮	1
樋口 智一	1	上野 年雄	1	眞砂 徳史	1
松尾 健治	1	梶屋 守	1	深川 智史	1
生田 雅史	1	上野 恵司	1	山本 元	1
長田 成弘	1	池田 直紀	1		
谷崎 俊介	1	池田 智則	1		

学年・名	学年・名	学年・名	学年・名	学年・名	学年・名
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36
37	38	39	40	41	42
43	44	45	46	47	48
49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66
67	68	69	70	71	72
73	74	75	76	77	78
79	80	81	82	83	84
85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96
97	98	99	100	101	102

参加ロータリアン(登録者)

R C	氏 名	R C	氏 名
大 東	宮 本 善 史	大 東	石 田 和 晴
"	門 野 良 雄	"	浅 見 禮 一
"	中 北 博	"	長 田 定 彦
"	根 本 晶 幸	"	藤 井 則 郎
"	佐 藤 信 夫	"	中 道 弘 美
"	小 林 一 夫	"	重 森 正 三
"	見 浪 光 夫	"	米 沢 三 吾
"	樋 口 茂	"	上野山 昌 秀
"	川 上 尊 明	"	西 川 常 一
"	大 川 進 一 郎	"	北 井 清 文
"	井 上 忠 信	"	大 西 利 治
"	浅 田 新 一	"	植 田 徹 吉
"	井 手 邦 雄	"	角 井 吉 彦
"	木 邨 正	"	江 原 誠 三
"	樋 口 秀 和	"	三 田 眞 作
"	宮 崎 啓 吾	"	吉 田 昭 己
"	永 田 崇	"	高 田 雅 収
"	池 田 實	"	高 岡 政 一
"	岩 崎 昇	"	北 本 克 文
"	橋 本 喜 八 郎	"	白 井 武 夫
"	上 田 陽 造	"	北 村 正 汎
"	中 島 文 数	"	東 村 博
"	田 中 輝 明	"	奥 田 保 幸
"	岡 本 日 出 士	"	米 沢 貞 夫
"	鷲 森 薫	"	恩 地 進
"	高 田 亨	"	中 村 隆 一
"	山 本 昌 次	"	重 光 世 洋

(順不同)

R C	氏 名	R C	氏 名
大 東	松 本 雅 晴	大 阪 阪 南	和 田 健
〃	石 丸 康 一	〃	仲 野 欣 弥
〃	山 崎 繁 則	大 阪 阪 和	原 野 昭 夫
〃	河 村 孝 正	〃	三 木 優
〃	坂 井 浩	大 阪 東 淀	豊 島 芳 浩
〃	西 村 完	〃	玉 井 三 貴 男
〃	澤 邊 清	大 阪 城 南	朝 倉 良
〃	森 本 正 一	〃	小 森 康 雄
〃	島 美 楯	〃	大 山 昭 夫
〃	吉 岡 幸 男	〃	岡 部 州 雅
〃	五 味 健	大 阪 柏 原	岸 太 郎
〃	榎 本 光 博	大 阪 南	松 本 晴 次
〃	宮 裏 忠 夫	〃	吉 川 晃 司
〃	藤 木 定 男	〃	新 田 精 一
〃	中 田 哲 夫	大 阪 南 西	重 村 泰 弘
〃	金 田 讓	〃	大 江 通 直
東 大 阪 西	城 戸 振 作	〃	前 田 孝 夫
大 阪	古 田 敬 三	〃	吉 田 和 正
〃	平 岡 龍 人	大 阪 船 場	米 田 恵 治
〃	西 村 彦 次	大 阪 住 之 江	池 田 淳 八
〃	今 井 悠 紀	大 阪 住 吉	一 ノ 瀬 博
〃	松 下 丈 武	大 阪 う つ ぼ	的 場 勝 彌
大 阪 阿 倍 野	酒 井 泰 男	吹 田	坂 東 宏
〃	竹 中 恒 雄	豊 中 南	菊 仲 敏 夫
〃	山 口 昭 雄	八 尾	中 島 孝 夫
〃	柿 木 清 司	〃	相 馬 俊 雄

(順不同)

救 急 法

《だれでも知っていなければならない応急手当》



火災予防の
マスコット
“SYO 坊や”

救急隊員から一言

119番で救急要請される件数は、年々増加しており、日常生活の周辺には不測の事故がとりまいています。

突然の事故に、ただおろおろして救急車が現場に着くまで何もされず放置されている傷病者を見るにつけ、非常に残念に思うことがたびたびあります。正しい救急処置を身につけ、緊急時に必要な処置ができるように「何をすべきか」「何をしてはいけないか」をはっきり判断し、愛する家族や友人等に事故が起きた時、119番すると同時に処置を行い、それ以上悪化させないように、また、自分自身も病気や災害から身を守り、人間愛にもとづいて救急処置を行って下さい。

目 次

心臓マッサージ	3
1. 心臓マッサージの意義	3
2. 心停止の確認	3
3. 心臓の位置と圧迫する場所	5
4. 胸骨下部圧迫の方法	7
• 二人で行う場合	7
• 一人で行う場合	8
• 子供、乳幼児の場合	8
• 心臓マッサージのリズム	9
5. 胸骨圧迫心マッサージの注意事項	10
6. 心肺蘇生をしながらの担架への収容方法	11
7. 前胸部叩打法	12
• 前胸部叩打法の注意点	12
8. 人工呼吸と心臓マッサージの比	13
骨折の手当	14
1. 骨折の固定に当たっての留意事項	14
2. 上腕部の固定の仕方	14
3. 前腕及び手首の固定の仕方	15
4. 下腿部の固定の仕方	15
5. 足首の固定の仕方	15
6. 大腿の固定の仕方	15
7. 膝の固定の仕方	16
8. 固定用具(副子)	16
包帯法	17
1. 包帯の目的	17
2. 包帯の種類	17
3. 巻き包帯による包帯要領	17
4. 巻軸帯の巻き方	17
5. 三角きんの使用法	18
6. 応用包帯	21
7. 三角きん使用法のまとめ	22
附 1. 救急車の正しい利用のしかた	
2. 救急車の呼びかた	

心 臓 マ ッ サ ー ジ

呼吸がなく、脈もふれず、心臓が停止しては、いくら人工呼吸をしても、血液が循環しないので、せっかくの処置も効果がありません。

心臓マッサージは停止している心臓を人工的に圧迫してポンプ機能を回復させ、血液の循環をはかるものです。

1. 心臓マッサージの意義

心臓は一度止まっても、しばらくすると再び自分で動き始めやすい臓器です。ただし心臓が止まり、中枢神経系に数分以上血液がいかず、酸素不足に抵抗の弱い脳が侵されたあとでは、心臓が再び動き出しても助かりません。心臓マッサージを行っても、頸動脈血流は正常時の $\frac{1}{3}$ ~ $\frac{1}{4}$ しか得られません。それでも心臓が自分で再び動きだすまで、あるいは医師に傷病者を引き継ぐまで、脳組織が侵されていくのを防ぐ力があります。事実、心停止を起こした傷病者が心臓マッサージで後遺症なしに多数救命されています。ただし、心臓マッサージの効果をあげるためには、心停止後できるだけ早く着手する必要があります。

2. 心停止の確認

傷病者が死人のような顔つきで意識がないときは直ちに頭をうしろにそらせ気道を確保します。呼吸をしていなければ、一刻も早く背臥位にし、肺を4回速やかに換気します。大血管に脈拍を触れず、瞳孔が開いているときは心停止を疑います。脈拍を触れるには、片方の手の人差し指と中指の指先の軟らかい平たい部分を使います。図のように前頸部の中ほど、甲状軟骨の高さで、その側方を静かに後方に向かって押しなが

ら、気管と頸の筋肉の間で頸動脈拍動をみつけます。傷病者の鼠径部が出せるときは、大腿動脈でもよく、乳幼児では前胸壁の心尖拍動を触れてみるとよいでしょう。これらに拍動があれば、人工呼吸だけすればよく、心停止が確かであれば、直ちに胸骨圧迫心マッサージと人工呼吸を続けます。



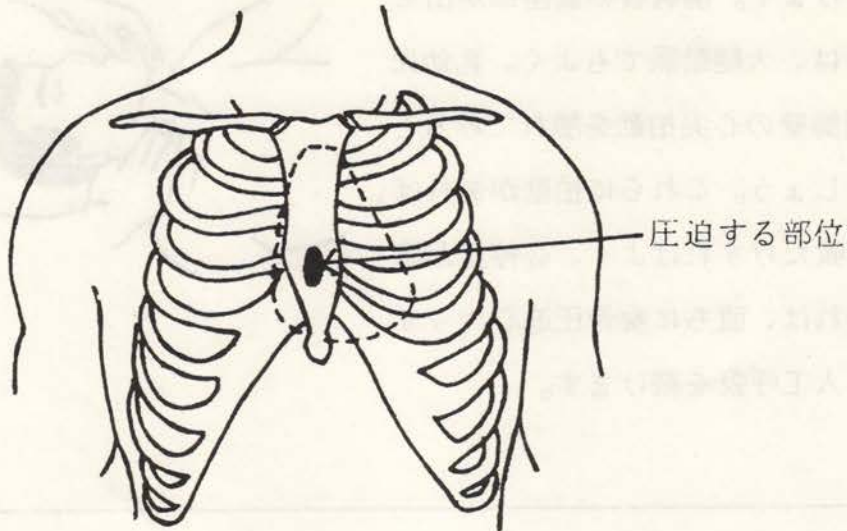
心臓マッサージは一定のリズムと圧迫力が必要となりますので十分に指導者から訓練を受けてから実施して下さい。
また、絶対に生体で訓練をしてはいけません。

心臓マッサージのリズム

大人は1分間60～80回のリズム

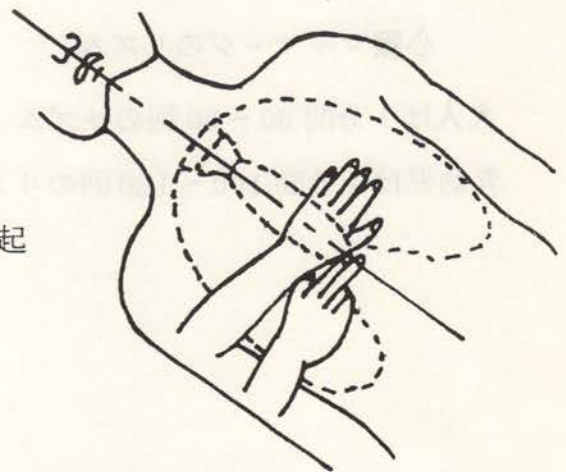
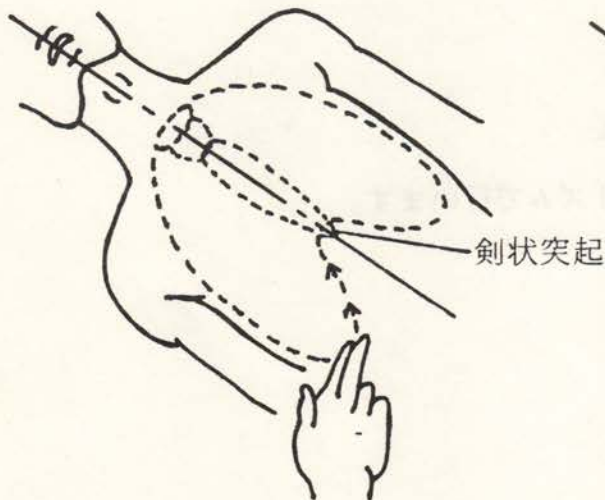
乳幼児は1分間100～120回のリズムで行います。

3. 心臓の位置と圧迫する場所

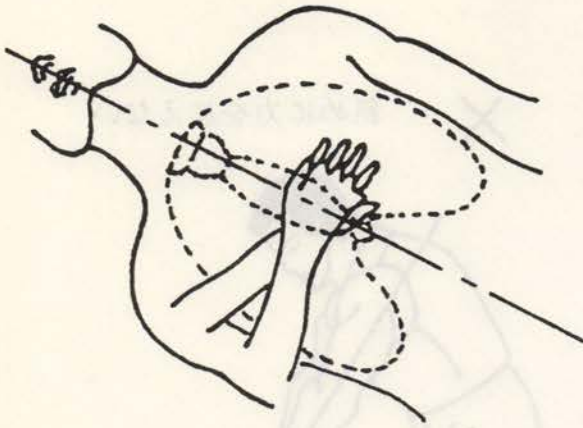


心臓の位置は胸の中央で、胸骨の下でやや左側に位置しています。

肋骨下縁にふれながらまん中に指をもっていく。



剣状突起上に指2本を置き
その上に手のひらを置く



指先は必ずもちあげる



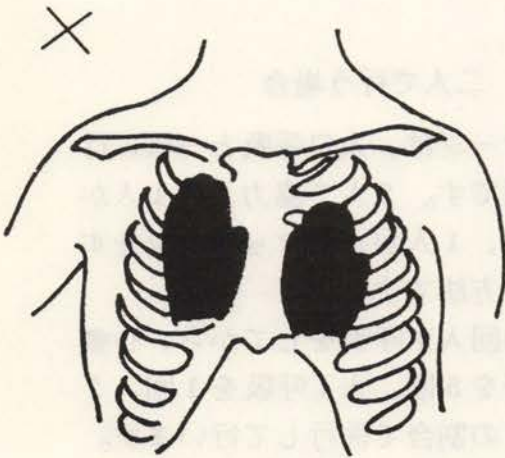
胸骨に
ふれる部分

指先で肋骨を圧迫しない
ように組合せます。

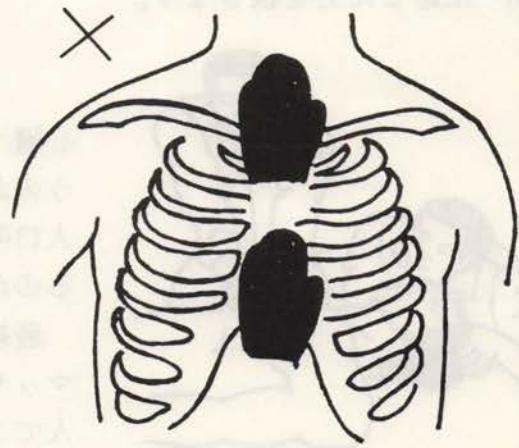


肋骨の上において手の掌全部に
力が加わると肋骨などが折れる
危険があります。

胸骨上で手が「×の字」になる
ようにおいては、肋骨などを折
る危険があります。

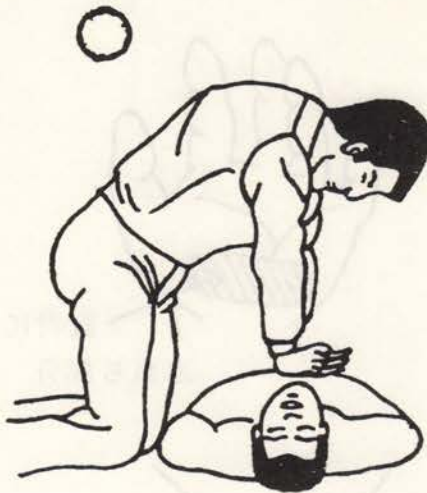


左、右に寄りすぎ
肋骨が折れたり、肺や心臓が裂
けることがあります。



上、下に寄りすぎ
鎖骨が折れたり、剣状突起で肝
臓を傷つけることがあります。

4. 胸骨下部圧迫の方法



- (1) 折り膝の姿勢で傷病者の胸に直角に向います。
- (2) 肩の位置は、傷病者の胸骨と胸椎を結ぶ線上に置き垂直に圧迫します。
- (3) 腕はのばします。
- (4) 上半身の体重を利用して胸骨を3～5cm押し下げます。
- (5) 圧迫した力を抜きます。



二人で行う場合

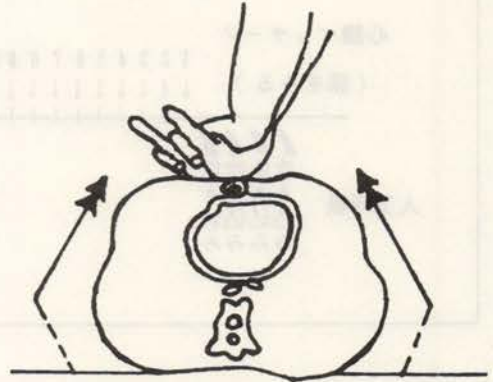
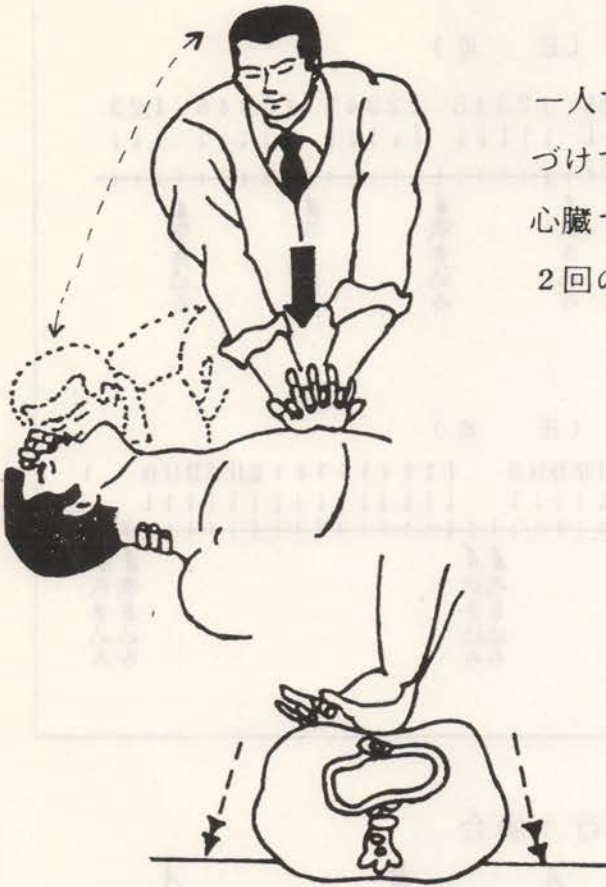
心臓マッサージは、人口呼吸と一緒に行うのが普通です。2人で協力して1人が人口呼吸を、1人が心臓マッサージをするのがよい方法です。

最初に4回人工呼吸をしてから、心臓マッサージを5回、人工呼吸を1回、2人で1：5の割合で併行して行います。この時、心臓マッサージをする人は、人工呼吸による胸のふくらみを人工呼吸をする人は、心臓マッサージの効果

を頸動脈にふれることでお互い確認しあえます。

一人で行う場合

一人で行う時は、人工呼吸を4回つづけて早めに行い、すぐ体移して心臓マッサージを15回人工呼吸を2回の割合で継続して行います。



子供は片手で圧迫します。

乳幼児は2本の指で圧迫します。

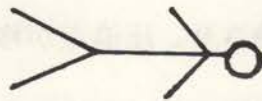
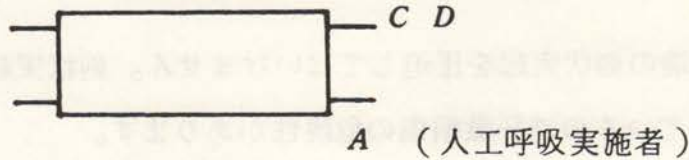


5. 胸骨圧迫心マッサージの注意事項

- (1) 胸骨圧迫心マッサージを開始したら、いかなる理由があっても5秒以上中断してはいけません。
- (2) 胸骨先端の剣状突起を圧迫してはいけません。剣状突起は腹部に向ってのびているので肝臓損傷の危険性があります。
- (3) 胸骨の圧迫と圧迫の合間は手掌根部の圧力を完全にゆるめますが、手掌根部は胸壁と常に接触させ、圧迫点が移動しないようにします。
- (4) 胸骨を圧迫した場合、実施者の手指を傷病者の肋骨上においてははいけません。そのためには、両手の指を組合せるのも良い方法です。
- (5) 胸骨を圧迫する場合は、胸の横から圧力が、かからないよう、胸骨を胸椎に向って圧迫するようにします。
- (6) 胸骨圧迫心マッサージは、円滑で規則的リズムで中断しない均等な圧迫を施すようにします。急激で突くような圧迫をすると肋骨々折、肋軟骨離断による気胸、血胸、肺挫傷等外傷の可能性を増大させるとともに心臓から短時間に多くの血流を送り出すことはできません。

6. 心肺そ生をしながらの担架への収容方法

- (1) (C) (D) は担架上に保温の準備をして、傷病者の横に担架を移動させます。



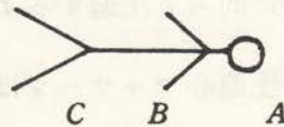
B (心臓マッサージ実施者)

- (2) (C) は傷病者の腰部に位置し、搬送準備完了と (A) に報告します。

- (3) (A) は報告を受けた後

「抱き上げ用意」と (B) (C) に指示し (B) のリズム呼称「5」で大きく呼気を吹き込み直後、大声

で「1」と呼称 (B) の胸骨下部圧迫を中断させ、次いで「2」と呼称し、(A) (B) (C) はその位置で傷病者の頭部、背部、腰部に両前腕をそう入し、抱き上げの姿勢をとります。



- (4) 次いで (A) は「3」と呼称し、(A) (B) (C) で傷病者を一気に抱き上げます。

- (5) (D) は抱き上げるのを待って、担架をすみやかに傷病者の下へそう入します。

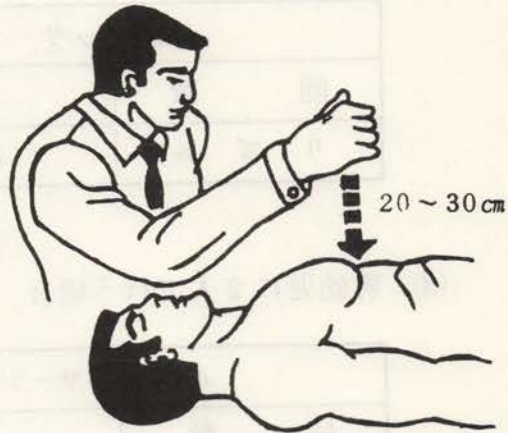
- (6) (A) は担架そう入と同時に「4」と呼称 (A) (B) (C) で傷病者を担架上に収容します。

(7) 傷病者収容直後(A)(B)は心肺そ生を継続します。

※ 担架収容時、胸部下部圧迫を5秒以上中断してはいけません。

7. 前胸部叩打法

前胸部叩打法はまだ反応性のある心臓(突発した成人の心停止で1分以内のもの)に刺激を与えるためにのみ用います。握りこぶしの底部の肉づきのよい部分で胸骨中央部に20~30cm上方から一打を加えます。



前胸部叩打法の注意点

- (1) 小児には用いてはいけません。
- (2) 連続して行ってはいけません。

1回叩打した後、呼気吹き込み人工呼吸法を速やかに3~4回行い総頸動脈が触れない時はすみやかに胸骨圧迫心マッサージを実施します。

- (3) 心停止1分以内に行います。
- (4) 酸素欠乏や出血による心停止には全く無効です。
- (5) 前胸部叩打の結果が現われるのを見るため時間を浪費したり前胸部叩打を反復したりしてはいけません。

8. 人工呼吸と心臓マッサージの比

(1) 成人に2人で行う場合

心臓マッサージ (A)		人工呼吸 (B)
回数	5 回	1 回
リズム	80 回/分	1秒間に1回

(2) 成人に1人で行う場合

心臓マッサージ		人工呼吸
回数	15 回	2 回
リズム	80 回/分	3～4秒に2回

(3) 乳幼児に2人で行う場合

心臓マッサージ (A)		人工呼吸 (B)
回数	5 回	1 回
リズム	120 回/分	1秒間に1回

(4) 乳幼児に1人で行う場合

心臓マッサージ		人工呼吸
回数	15 回	2 回
リズム	120 回/分	2～3秒に2回

骨折の手当

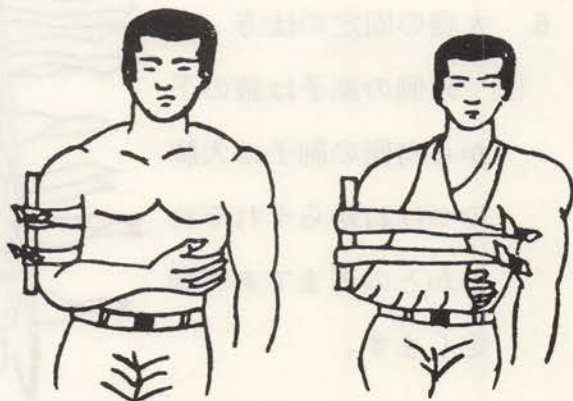
骨折した場合は、安静にすることが、原則です。やむをえず緊急に移動させなければならない場合は、骨折箇所を確実に固定してから、移動して下さい。

1. 骨折の固定に当たっての留意事項

- (1) 出血や傷のある場合はその手当を先に行います。
- (2) 骨が傷口から、突き出している時は、骨の端にさわったり、押し込んだりしてはいけません。
- (3) むやみに動かさないで、骨折部は、固定してから動かします。
- (4) 骨折部の上下の関節が動かないように固定します。
- (5) 副子固定箇所に隙間がある場合には、タオルなど柔らかい布を入れて固定します。
- (6) 変形は直さない、ただしひどく屈曲しているときは、搬送が困難なうえ、骨折端等で神経、血管などをきずつけるおそれがあるので、静かに直し固定します。
- (7) 固定する場合は血液の循環を確認するため指先などを出しておきます。

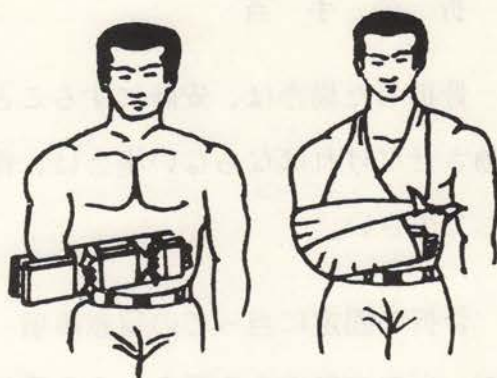
2. 上腕部の固定の仕方

- (1) 骨折部位に副子をあて骨折部位の上下を固定します。
- (2) 三角きんで吊った後さらに体幹に固定します。



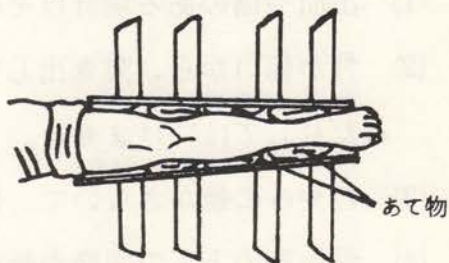
3. 前腕及び手首の固定の仕方

- (1) 骨折部位両側の関節部に副子を当て、骨折部上下を固定します。
- (2) 三角きんで吊った後さらに体幹に固定します。



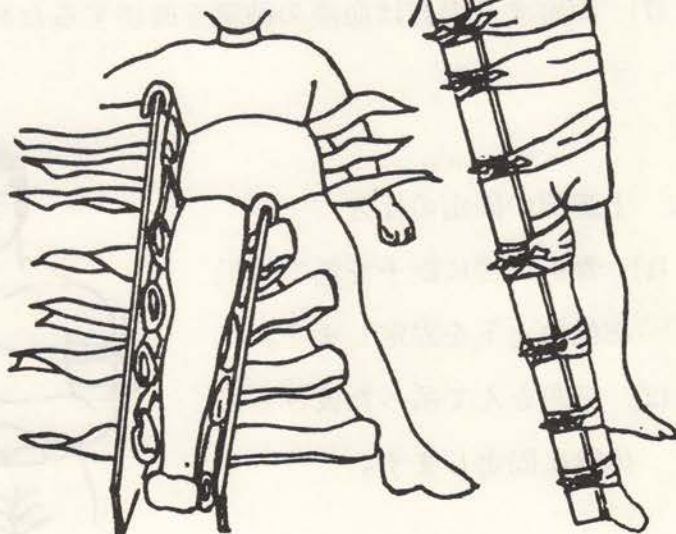
4. 下腿部の固定の仕方

- (1) 骨折部位両側から副子をあてます。
- (2) 骨折部位上下の関節が動かないよう固定します。



5. 足首の固定の仕方

- (1) 靴、靴下を脱がせ座布団または、バスタオル等を使用して固定します。

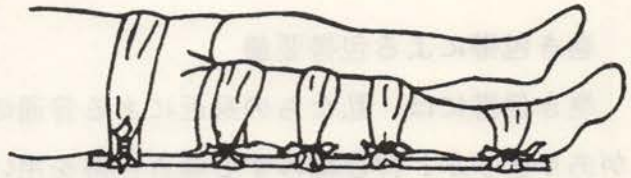
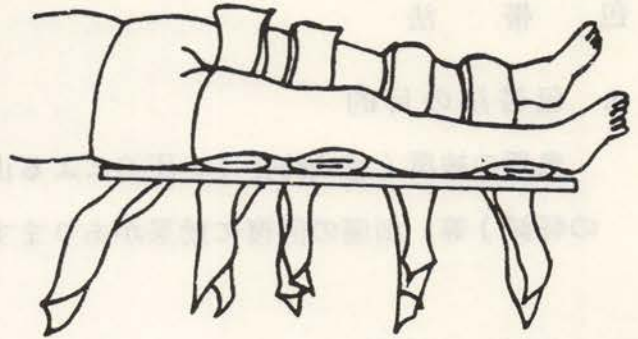


6. 大腿の固定の仕方

- (1) 外側の副子は腋の下から内側の副子は大腿のつけねからそれぞれかかとの下まであて固定します。

7. 膝の固定の仕方

傷病者の膝を伸ばして
足首から臀部まで裏側に
副子をあて固定します。



8. 固定用具（副子）

骨折の固定に用いる副子には、梯状副子やアルミ副子、軽便全身副子などがあります。しかしこのような副子がないときには、十分な硬さと骨折箇所上下の関節を固定できる長さの物（カサ、板、ダンボール、雑誌）があれば応急副子として利用できます。

包 帯 法

1. 包帯法の目的

患部の被覆（感染防止）、圧迫による止血、患部の固定けん引（苦痛の軽減）等、創傷の回復に効果があります。

2. 包帯の種類

三角きん、巻き包帯、ネット包帯などがあります。

3. 巻き包帯による包帯要領

巻き包帯には、私たちの身近にある普通のものと、伸び縮みするものがありますが、伸び縮みする巻き包帯を用いる場合は傷口に滅菌ガーゼを当ててから、適正な平均した圧迫度でずれないように巻きます。

この時、強く巻くと、血液の循環が悪くなりますので注意して下さい。

4. 巻軸帯の巻き方

(1) 巻き始め

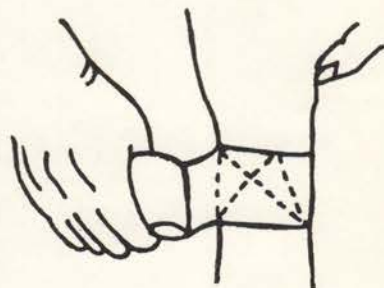
巻き始めはゆるまなように包帯の一端を斜にあてる



ひと巻きした後
はみだした部分
をその上に折り
返し重ねる



その上にさらに
重ねて巻いてゆ
く



(2) 折り返し巻 (折転帯)



太さの変化のある
部位に巻きます。

(3) 肘の8字型包帯



(4) 各部位の巻き方



(5) 三角きんの使用法

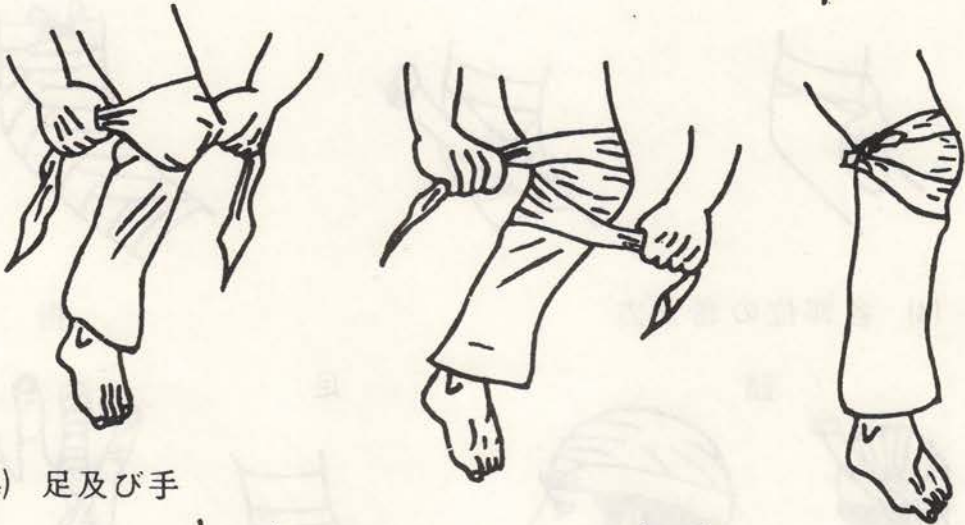
(1) 頭



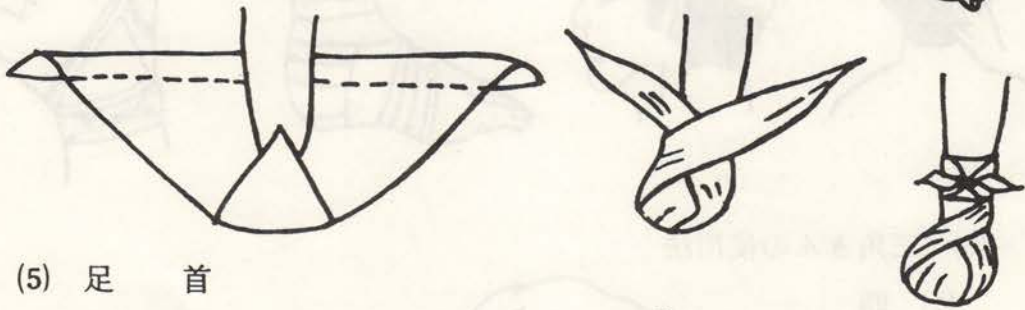
(2) 顔 面



(3) 膝



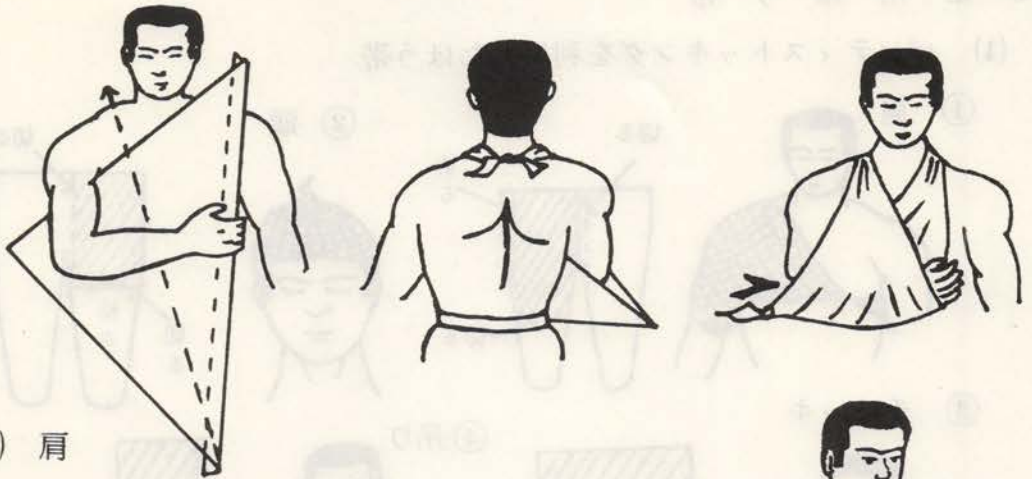
(4) 足及び手



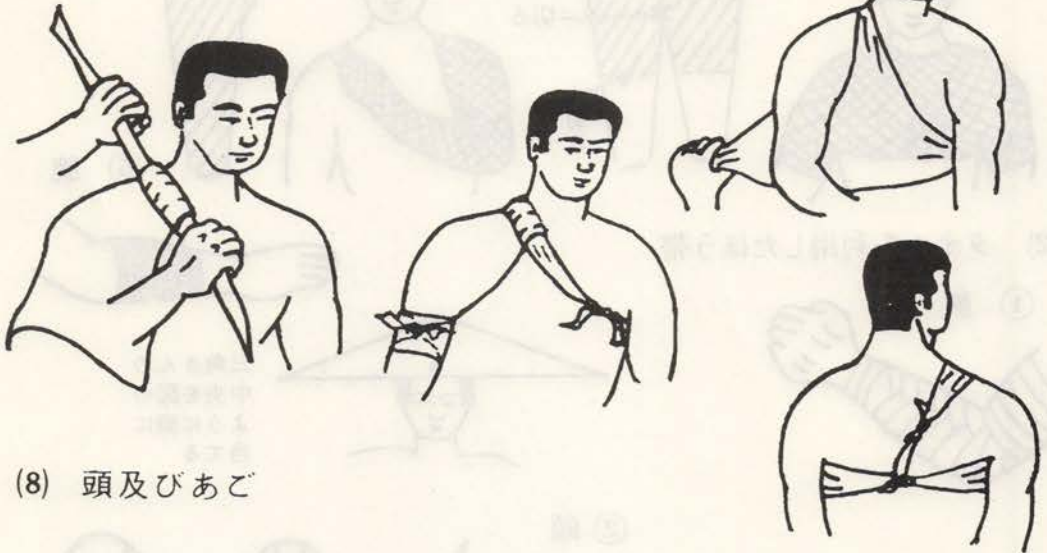
(5) 足 首



(6) 固定包帯の仕方



(7) 肩



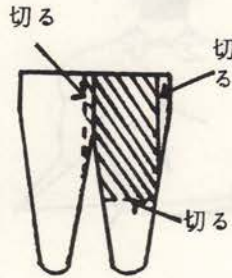
(8) 頭及びあご



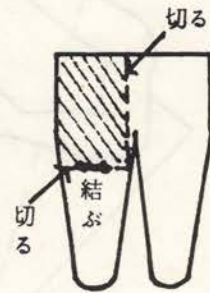
6. 応用ほう帯

(1) パンティストッキングを利用したほう帯

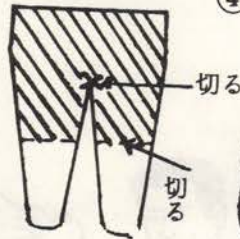
① 肩



② 頭



③ チョッキ



④ 吊り



⑤ 腕

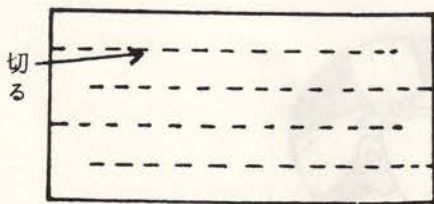
(2) タオルを利用したほう帯

① 腕



三角きんの中央を図のように頭に当てる

切り方(たんざく切り)

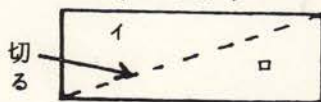


② 頭



三角きんの両端を後頭部に回わし交差させ一方の頂点の突に通し、両端をしっかりくくり、両端をひたいの方に回わし中央でくくる。

(切り方)



イ、ロを縫い合せる



頂点のやや下と、底辺のやや上に穴をあける

7. 三角きん使用法のまとめ

開き三角きん



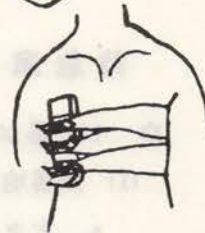
頭
顔 面
肩
胸・背
肩から胸
髀 部
下腹部
手・足



たたみ三角きん



額
頬、耳、顎
眼
肋 骨
上腕、大腿、下腿
肘、膝
前腕
掌
掌の圧迫
陰 部
足首の捻挫





救急車の正しい利用のしかた

(1) 救急車を利用できる事故は

- ★ 火災、地震、暴風雨などの災害によって負傷者がでたとき（災害による事故）
- ★ 交通事故、運動競技中の事故など屋外や公衆の出入する場所で負傷者や、急病人がでたとき（屋外、公衆の出入する場所の事故）
- ★ 一般家庭など屋内で負傷者や急病人がでたときで、医療機関へ搬送する手段がなく、緊急に医療機関へ搬送しなければならないとき（屋内の事故）

(2) 救急車を利用できないもの

- ★ 軽い病気やケガで緊急に搬送する必要のない傷病者
- ★ 法定伝染病患者及び精神障害者
- ★ けが等のない単なる泥酔者

救急車の呼びかた

☆ 119番が通じたら、次のことをあわてないではっきり話して下さい。

(1) 所番地とだれでもわかるような目標があれば、その名をつけ加える。

- 大きなビルの場合は、ビルの名前と、何階の何号室かをはっきり話し、入口はどこが近いかをつけ加える。
- 駅の場合は、何番線ホームで何という入口が最も近いかを話す。

(2) どうしてケガをしたのか、またどんな状態で発病したのかを話す。

(3) 今、どんな状態をしているか、見たままの状態を簡単に話す。

ケガ人がたくさんいたら、それを忘れずに話す。あとは係員の質問にはっきり答える。

☆ サイレンが聞えたら、できるだけ案内する人を出して誘導して下さい。

☆ 現場に到着した救急隊員に次のようなことを連絡して下さい。

- (1) 救急隊が到着するまでの容態の変化
- (2) あなたが傷病者のために行った応急手当の内容
- (3) 持病があれば、その病名及びかかりつけの病院と主治医名

I A C 名	氏 名